

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	1,824,167,752
負債 (b)	199,389,067
基本金 (c)	892,914,400
国庫補助金等特別積立金 (d)	592,782,605
合計 (a - b - c - d)	139,081,680

- （黄色） 手入力（必須入力）するセルです（※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。）
- （青） 計算式が設定されており、入力することはできません。
- （白） 手入力するセルです。（不明の場合は、記載要領に従って入力してください）
- （オレンジ） 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- （黄緑） プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

合計 (a)	1,490,094,218
--------	---------------

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	26,230,000
1年以内返済予定リース債務	1,868,832
設備資金借入金	35,830,000
リース債務	0
合計 (b)	63,928,832

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	1,490,094,218
対応負債合計 (b)	63,928,832
対応基本金 (c)	892,914,400
国庫補助金等特別積立金 (d)	592,782,605
合計 (a - b - c - d)	0

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率				自己資金比率			合計額			
						①建設工事費 デレター	②1㎡当たり単価上昇率			①、②のいずれか 高い方の率	③一般の自己 資金比率	④建設時自己資金比率		③、④のいずれか 高い方の率		
							一般的1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)			a/ (b/c)			建設時自己資金 (d)	d/b
横浜市旭区今宿1丁目5番1号	2002				1,097,731,517	1.246	250,000	1,757,607,630	-	-	1.246	22%	-	-	22.0%	300,910,163
合計																300,910,163

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

(3) 設備・車輦等の更新に必要な費用

合計	101,567,639
----	-------------

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	300,910,163
大規模修繕に必要な費用	123,639,678
設備・車輦等の更新に必要な費用	101,567,639
合計	526,117,480

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	390,363,012	12	3	97,590,753

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	-	12	12	-

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	139,081,680	623,708,233	※「5. 計算の特例」の適用有無を 変更する場合、以 下のセルから選択す ること。 適用する
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	0		
再取得に必要な財産	526,117,480		
必要な運転資金	97,590,753		
計算の特例	-		
合計	-484,620,000		

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-484,620,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-484,620,000

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ((a×b) × c / (a+c))	
1,097,731,517	30%	-	-	659,876,113	123,639,678	123,639,678